

平成 30 年度  
公益財団法人つくば科学万博記念財団  
事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日



# 目次

はじめに	1
I. 個別の事業活動に関すること	
1. つくばエキスポセンターの運営に関する事業	1
(1) 展示	2
(2) 催事	3
(3) プラネタリウム及び3Dシアター	9
(4) ミュージアムショップ	13
(5) その他	13
2. 科学技術の普及啓発及び人材育成の促進、科学技術に関する 産業界、大学及び公的研究機関の連携促進並びに科学技術の 国際交流の促進に関する事業	14
(1) 科学技術の普及啓発及び人材育成の促進	14
(2) 科学技術に関する産業界、大学及び公的研究機関 の連携促進並びに科学技術の国際交流の促進	17
3. 科学技術関係団体等に関する事業	18
4. 情報発信・広報活動	18
(1) 情報発信（情報公開）	18
(2) 広報活動	18
II. 財団運営に関する総合的な活動に関すること	
1. 代表理事・業務執行理事及び理事会・評議員会	18
(1) 理事会	19
(2) 評議員会	20
2. 監事監査	20
3. 基金の運用	20
(1) 運用収入	20
(2) 再投資	21
(3) その他	21
4. 施設・設備	21
5. 業務執行体制	21
6. その他	22

## はじめに

公益財団法人つくば科学万博記念財団（以下「財団」という。）は、財団を取り巻く科学技術環境等の変化や財政状況も転換期を迎えつつあることを踏まえて「つくば科学万博記念財団中長期計画」（以下、「財団中長期計画」という。）を2017年3月に策定した。2018年度は、財団中長期計画の2年目にあたり、引き続き財団の新生化と地域における存在基盤の確立を目指し、既存事業の効果や必要性について見直しを図り、財団運営の継続性を確保しつつ、時代の流れや社会のニーズの変化に常に対応していくことを意識して事業に取り組んだ。特に外部機関との連携の下に企画展や「サイエンスレクチャー」等の新たな企画展開を実施した。

つくばエキスポセンター（以下「センター」という。）の入館者数は194,150人となり、約10年ぶりに19万人台となった昨年度をさらに上回り、多くの方がセンターに足を運んだ。

また、来館者の約6割が観覧するプラネタリウム設備の老朽化に伴うリニューアルに向けた準備や新たな事業である「エキスポ科学クラブ」の立ち上げ準備、地域の動向と連動した展示更新計画作業の見直し、消費税率の改定に伴う入場料の見直し等を進めていくとともに地元自治体と連携した取り組みや、病院に出向いたアウトリーチ活動等、新たな分野へのチャレンジを行った。並行して、来館者が快適に利用できるよう設備等の老朽化に対応した。

2018年度の事業計画に従い、実施した事業は以下のとおりである。

### I. 個別の事業活動に関すること

#### 1. つくばエキスポセンターの運営に関する事業【公益1・収益1】

センターの運営事業は、財団中長期計画に基づき、「つくば」に立地するということを意識し、「常に科学技術に触れることができる」「科学技術の本質を理解することができる」「未来の社会経済の姿を想像できる」という観点から、展示や科学技術コミュニケーション、催事、プラネタリウム等の様々な活動を行った。

事業の実施にあたっては、地元自治体や研究開発機関、高等教育機関、学校や民間企業等の関係機関と連携・協力するとともに、ボランティアの幅広い協力も得ながら実施した。

2018年度の入館者数は194,150人（前年度：191,817人）であり、昨年度を上回った。特に4・5月の入館者数は、企画展（トリックアート展）の反響が大きく、3.7万人を超え、前年度と比べ8千人増となった。

表 - 1 入館者数 (単位:人)

年度/月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
2018	49,438	74,952	36,501	33,259	194,150
2017	41,395	77,052	40,095	33,275	191,817
年度増減	8,043	△2,100	△3,594	△16	2,333

表 - 2 プラネタリウム入場者数 (単位:人)

年度/月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計/平均
2018	27,096	47,356	20,818	22,377	117,647
入館者比 (%)	55%	63%	57%	67%	61%
2017	27,609	50,994	24,376	21,973	124,952
入館者比 (%)	67%	66%	61%	66%	65%

表 - 3 団体利用者数 (単位:人)

年度/月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
2018	7,172	10,868	9,504	4,223	31,767
2017	7,654	9,846	11,854	3,983	33,337
年度増減	△482	1,022	△2,350	240	△1,570

### (1) 展示【公益1】

展示事業は、あらゆる世代の来館者が科学技術に触れることのできる機会や場となることを目指し、科学技術への興味・関心の惹起、発展的な理解増進に繋がるよう、展示場ごとの機能や役割を明確化し展開した。

また、南極 0B 会茨城支部と連携して国内唯一の南極雪上車動態展示の維持、来館者からの要望に応えたプラナリアや深海生物オオグソクムシの生体展示の追加を行い、来館者とスタッフ、研究者・技術者等による双方向・マルチ方向の科学技術コミュニケーションの実践に努めた。

2017 年度から着手した「つくばエキスポセンター展示構想案」(以下、「展示構想案」という。)を基に展示更新計画の作業を進める中、2018 年 5 月につくば市から地域の再生計画である「つくば中心市街地まちづくりビジョン(案)」が示され、つくばに立地する科学館として可能な限り共存していく必要性が改めて生じたため、再生計画の動向や連携を意識して、展示構想案の見直しや修正を図りながら進めていくこととした。

### ①1 階展示場及び屋外展示場【公益1】

1 階展示場及び屋外展示場は、誰もが科学技術を体験し、不思議さを実感できる「科学技術のエントランス機能」が果たせるよう展示運営に努めた。

1 階展示場は、夏季の企画展において幼児を中心に人気を集めた「カラフルギア」を新たに設置し、屋外展示場では、多様な交流が生まれる空間づくりとして、サイエンス・サッカー教室等のイベントの実施や南極雪上車の動態展示と試乗会を実施した。

その他、腐食による経年劣化と老朽化が進んでいた展示「太陽のシンボル」については、安全性を確保するために撤去作業を行った。

### ②2 階展示場【公益1】

2 階展示場は、科学技術の重要性を認識し、理解を深め、発展させる機能を果たしていくため、来館者からの要望にも応えて、未来の再生医療研究において特性が注目されている「プラナリア」や企画展で活用した深海生物「オオグソクムシ」の生体展示の追加、情報分野において第一線で活躍したスーパーコンピューター「京」（2019年8月に共用終了予定）の筐体展示等の設置に向けて理化学研究所と調整・準備を進めた。

### ③その他

センターのチケット売り場を改築し、迅速できめ細かい対応や繁忙期の来館者の待ち時間減少と利便性のさらなる向上を目的に対面式販売による新券売システムを2019年2月に導入して仮運用を開始した(4月から本運用)。

## (2) 催事【公益1】

催事事業は、幅広い世代を対象に科学技術のエントランス機能として、科学技術の重要性と理解の発展を果たしていくことを念頭に、科学技術をより身近に感じ、理解増進が期待できるよう事業を実施した。

### ①一般催事【公益1】

一般催事は、誰でも気軽に参加でき、自然現象や生活を支える科学技術が理解・実感できるよう、サイエンスショー、科学教室、講演・講座を毎週末に開催した。また、第一線で活躍する研究者や技術者から実体験に基づく活動の話や体験が視聴できる機会の提供等の対話が生まれる展開を意識し、防災科学技術研究所等の関係機関からの協力も得ながらプログラムの充実に取り組み、センターの魅力度の向上に努めた。

a. サイエンスショー

いつでも科学技術に触れられる機会として、身のまわりにある科学現象をはじめ、常設展示に関連した科学の原理や技術等を実験ショー形式で楽しく演出し、主にエントランスホールや屋外展示場等で幅広い年代層にわかり易く解説した。また、新しいプログラムとして「電池」を開発するとともに、これまでのプログラムにおいても工夫を加えた。(12 テーマ/211 回)

<テーマ一覧>

4 月	ドライアイス
5 月	シャボン玉
6 月	身近な気体
7 月	超低温の世界
8 月	深海の世界
9 月	火山のひみつ/協力：防災科学技術研究所
10 月	音
11 月	見えない光
12 月	光の七変化
1 月	静電気
2 月	大気圧
3 月	電池 (※新プログラム)

b. 科学教室

科学に関連する原理や仕組みについて、気軽に参加して理解を深めるとともに、ものづくり体験を通して自ら工夫する創造や技術の重要性を学ぶ機会となることを意識し、新規プログラム「空気マジック手袋」を加え、工作教室を実施した。(21 テーマ/158 回)

<テーマ一覧>

春休み	ミニ空気砲
4 月	CD ゴマ
ゴールデンウィーク	立体万華鏡/ホログラムゴマ
5 月	ブーメラン
6 月	風船スライム
7 月	不思議なプロペラ
夏休み	UV チェックストラップ/ビーズの万華鏡 竹とんぼ/磁性スライム

(科学教室 テーマ一覧 続き)

9月	光るキーホルダー
10月	水笛
11月	虹色万華鏡
12月	アロマキャンドル
正月	ぐにゃぐにゃ凧
1月	手作りmyカイト
2月	空気マジック手袋 (※新規プログラム)
3月	風船ロケット
春休み	スカイスクリー／ゴム動力飛行機

c. ジュニアサイエンス講座

ジュニアサイエンス講座は、ボランティアインストラクターが企画・準備・実施する活動として、科学技術をテーマにさらに踏み込んだ内容や詳しく学びたいという要望に応えることを意識して実施した。(10テーマ/10回)

<テーマ一覧>

6月	水中エレベーター (浮沈子) 工作
7月	草木染でオリジナルのハンカチを作ろう
8月	スマホで観察 ミクロの世界
9月	水ロケット
10月	H-IIロケットの高さを測ろう
11月	はじめてのラジオ工作教室
12月	電気分解で絵や文字を描いてみよう
1月	コマの科学
2月	ホバークラフト工作
3月	円周率 ( $\pi$ ) を計算しよう

d. 季節イベント

センターにおける季節感を演出したイベントとして、「七夕の星空に願いをかけよう! ~楽しい七夕飾りづくり~」や「クリスマス特別企画エントランスミニコンサート」等を開催した。

②特別催事【公益1】

特別催事は、科学技術をテーマに来館者がスタッフや研究者等と対話し、未来を想像する契機となるよう、話題性、新規性、意外性を踏まえたユニークな視点から科学技術の役割を紹介することを意識して企画展等を開催した。



企画展は、企画段階から関係機関等との連携を図り、科学技術の社会経済的役割や一般社会からの視点を意識して通年で開催した。特に春季の企画展「世にも不思議な美術展～トリックアートの世界～」は、会場への入場待ちの列ができるほどの人気を集め、入館者増に寄与した。

加えて、つくば市教育局と連携した「教員のための博物館の日」やビー・エム・ダブリュー社の協力によるワークショップ「自動運転で動く車のしくみ」の開催、高エネルギー加速器研究機構と連携した講演会や筑波大学発ベンチャーと連携したワークショップを実施するなど科学技術に関するトピックス等に対応し、情報発信及び機会の提供に努めた。

また、2019年6月に開催される「G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」の普及啓発及び地域情報の発信イベントとして位置づけられている「つくばサイエンスハッカソン」（2019年5月）や「いきいき茨城ゆめ国体2019」（2019年8月）の炬火イベント等、地元つくば市の取り組みに積極的に対応し、つくば市等の関係機関と協議しながら準備を進めた。

#### a. 企画展

##### 1) 春季企画展「世にも不思議な美術展～トリックアートの世界～」

テーマ：錯視

期 間：2018年3月31日（土）～5月20日（日）

協 力：(株) エス・デー、(株) 学研プラス 他2機関

後 援：つくば市教育委員会

関連イベント：

○トリックアートワークショップ「イルカの数が変わる不思議な絵を作ろう」

○講演会「錯覚の不思議」

○トリックアートワークショップ「おじさんをボクサーに変身させよう」

##### 2) 夏季企画展「まわる！うごく！からくり動物 ～アッ!とおどろく歯車パワー～」

テーマ：歯車

期 間：2018年7月21日（土）～9月2日（日）

協 力：(株) ネオビエント、日本精工（株） 他2機関

後 援：つくば市教育委員会

関連イベント：

○スピードアップ！レーシングカー！～VS まさつ力～

○時計を分解しよう！

○ギアチェンジ！パワフルカー！～VS 加重～

○ワークショップ「動く人形を作ろう」

○講演会「からくりの仕組みと動きの表現について」

3) 冬季企画展「のぞいてみよう！知らない世界 - 深海たんけん - 」

テーマ：深海

期 間：2018年12月8日（土）～2019年2月11日（月祝）

協 力：江戸っ子1号プロジェクト、(株) FullDepth 他12機関

後 援：つくば市教育委員会

関連イベント：

○海洋深層水を飲んでみよう！

○チリメンモンスターを探せ！

○プログラミングワークショップ「ロボットで深海を探検しよう！」

○考え、作って、操作する！「水中ドローン」ワークショップ

○講演会「おしごと紹介！しんかい6500パイロット」

4) 春季企画展「しかけがいっぱい！とびだす絵本」

テーマ：仕掛け絵本

期 間：2019年3月21日（木祝）～6月9日（日）

協 力：(株) MOLEN、(株) 学研プラス

後 援：つくば市教育委員会

関連イベント：

○かがくえほんのおはなしかい

○アニメ絵本をつくろう

5) ミニ企画展 天体写真展「地球から宇宙へ」

テーマ：天体写真

期 間：2018年12月8日（土）～2019年2月11日（月祝）

協 力：全国科学館連携協議会

b. ミーツ・ザ・サイエンス

日常的に未来社会の姿を実現しようとしている研究者や専門家から直接話を聞き、最新の研究状況や成果等の活きた科学技術に触れ、実感し、活動を理解する場となることを目的に幅広い観点からのテーマや展開でイベントを実施した。

<テーマ一覧>

10月21日（日）	第40回「南極の今！～つくばに戻った隊員たち語る～」 ※昭和基地との中継、屋外での雪上車の試乗体験も実施 ※雪上車走行デモ 10月20日（土）・21日（日）
-----------	--

(ミーツ・ザ・サイエンス テーマ一覧 続き)

11月4日(日)	第41回 スポーツと科学技術のコラボイベント 「サイエンス×サッカー教室」 協力：筑波大学、Blosson (株) 他
----------	---

c. 科学技術トピックス

現在進行形の最新研究や旬な話題の科学技術情報を提供する企画として、相模原市立博物館との連携による「はやぶさ 2」トークライブのネット中継、「SuperKEKB+Bell II 測定器」稼働初粒子衝突実験ライブビューイング、ノーベル医学生理学賞を免疫チェックポイント阻害剤「オプジーボ」の開発により京都大学の本庶佑特別教授が受賞したことに伴う、特設コーナーの設置を行った。

d. その他の主催・共催イベント

4月17日(火) ～22日(日)	科学技術週間 ・「一家に1枚」科学のポスター展 ・第59回科学技術映像祭～入選作品上映会～ ・宇宙アサガオの種プレゼント ・カブトムシの幼虫プレゼント ・一日館長
5月19日(土) ～20日(日)	「国際植物の日」関連行事 ・宇宙アサガオの種プレゼント ・顕微鏡で植物を観察しよう 共催 筑波大学
7月1日(日)	全国同時七夕講演会 「宇宙誕生のメッセージ～時空を超えてやってくる波～」 共催 高エネルギー加速器研究機構
7月24日(火)	那珂研理科実験教室～核融合ってなんだろう～ 協力 量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所
7月26日(木)	「教員のための博物館の日」 共催 国立科学博物館、日本博物館協会 後援 文部科学省、茨城県教育委員会 他
8月18日(土)	ワークショップ「電波を使って地球を視る！」 主催 (株) ワークスペース 協力 筑波大学「結」プロジェクト
8月20日(月) ～24日(金)	第5回全国児童館・科学館・美術館対抗KAPLA大会 つくばエキスポセンターエントリー ※夏休み期間中、体験展示設置

(その他の主催・共催イベント 続き)

8月25日(土) ～26日(日)	まつりつくば2018 ロボットパーク特別出展 浮沈子工作教室/ミニ企画「まわる!うごく!からくり体験」
9月1日(土) ～2日(日)	コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」 協力 原子力発電環境整備機構
9月22日(土)	宇宙の日記念行事 講演会「太陽系外惑星の世界に挑む」 協力 国立天文台
11月10日(土) 12月15日(土)	折り紙ワークショップ「ふしぎな立体折り紙を折ってみよう!」 協力 筑波大学
11月23日(金祝) 2月9日(土)	ワークショップ「自動運転で動く車のしくみ」 協賛 ビー・エム・ダブリュー(株) 協力 全国科学館連携協議会 企画・制作 日本科学未来館 ※11月23日のみ「自動運転レベル2の車両 同乗体験」も実施
11月24日(土)	講演会「サイエンスレクチャー～加速器で探る宇宙～」+プラネタリウム特別上映会 協力 高エネルギー加速器研究機構
3月31日(日)	ワークショップ「放射線を知ろう」+講演会 企画・制作 日本科学未来館 協力 日本原子力研究開発機構

### (3) プラネタリウム及び3Dシアター【公益1】

#### ①プラネタリウム【公益1】

光学式プラネタリウム及びデジタルプラネタリウムシステムを効果的に活用し、センター独自の「オリジナル番組」を3作品制作した。オリジナル番組の制作にあたっては、天文・科学技術に関する情報、最新の研究や成果等、タイムリーでニーズに応えることを意識して制作に取り組んだ。

また、スタッフによる「星空解説番組」は、季節の星空や天文現象等のトピックスを交え、幅広い年代の方にわかり易い内容で解説を行った。

加えて、あらゆる世代の人がプラネタリウムに親しみ、気軽に体験できる契機となるよう「こども番組」、「特別番組」をスケジュールに組み込み、来館者が興味関心を抱きやすいコンテンツを選択して上映した。

その他、プラネタリウム設備を活用した新しい取り組みとして、研究教育機関等と連携した特別上映会及び講演会の実施、設備については、音響機器の更新に加え、経年劣化したデジタルプラネタリウムシステムの次年度更新に向けて、更新計画の策定や工事契約等の調整や準備を進めた。

a. 2018 年度上映実績

オリジナル 番組	ハロー、ジュピター ー木星、新たなる冒険の旅ー	2018年1月13日(土) ～5月27日(日)
	はるか彼方より、時空を超えて ～ノーベル物理学賞の大発見重力波～	2018年6月2日(土) ～9月2日(日)
	天球のものがたり My 星座にチャレンジ	2018年9月8日(土) ～2019年1月7日(月)
	宇宙の中のオウムガイ ～自然にかくされたさまざまなカタチ～	2019年1月12日(土) ～6月23日(日)
星空生解説	見上げてみよう！今日の星空ー春ー	2018年3月1日(木) ～5月27日(日)
	見上げてみよう！今日の星空ー夏ー	2018年6月2日(土) ～9月2日(日)
	見上げてみよう！今日の星空ー秋ー	2018年9月8日(土) ～11月30日(金)
	見上げてみよう！今日の星空ー冬ー	2018年12月1日(土) ～2019年2月28日(木)
こども番組	ポケットモンスター サン&ムーンプラネタリウム	2017年11月3日(金祝) ～2018年10月28日(日)
	はなかつば 花さけ！パッカ～ん 宇宙旅行	2018年6月2日(土) ～2019年5月26日(日)
	名探偵コナン 星影の魔術師 (マジシャン)	2018年12月1日(土) ～上映中
特別番組	ゴッホが描いた星空	2018年3月25日(日) ～2019年3月31日(日)
学習番組	小中学校からの要望に基づき、「夏・冬の星座と大三角」「月の満ち欠け」 をテーマに適宜実施。	

b. プラネタリウム施設におけるバリアフリーに向けた取り組み

あらゆる人がプラネタリウムを体験できる取り組みとして、オリジナル番組の字幕、副音声、補聴援助機器によるサービスの提供を行った。英語版副音声の作成にあたっては、地域のインターナショナルスクールや外国人ボランティアの協力を得て実施した。

- 英語版上映 : 14 回
- 字幕投影 (日本語) : 115 回
- 副音声 (イヤホン/日本語、英語) : 日本語 403 件/英語 376 件

○補聴援助機器（磁気誘導ループ）：日本語 15 件

c. オリジナル番組の他館上映実績

これまでセンターが制作したオリジナル番組の「流れ星のひみつ」や「火星にいこう」等が他の科学館や博物館（5館）で上映され、プラネタリウム運営や星空・天文の普及活動に貢献した。

番組タイトル	上映館	上映期間
流れ星のひみつ	さぬきこどもの国	2017年4月26日(水) ～2018年4月25日(水)
実験プラネタリウム	佐世保市少年科学館 星きらり	2017年7月21日(金) ～2018年7月20日(金)
流れ星のひみつ	新座市児童センター	2018年4月1日(日) ～2019年3月31日(日)
火星にいこう	新座市児童センター	2018年4月1日(日) ～2019年3月31日(日)
火星にいこう	岡山天文博物館	2018年6月23日(土) ～2019年6月22日(土)
火星にいこう	高松市こども未来館	2018年7月21日(土) ～2019年7月20日(土)

d. 天体観望会

プラネタリウム設備を効果的に活用し、天文学及び天体観測の入口的役割になることを意識して、天文や星空、星座に親しみ、興味関心を喚起することを目的に、プラネタリウムによる解説を組み込んだ観望会を定期的実施した。（隔月開催／7回）

その他、タイムリーな天体现象（部分日食）を観測する観望会の開催やより多くの方に体験できる環境を提供するために、移動型 35cm 望遠鏡の整備改修を実施した。

<テーマ一覧>

5月	春の二重星
7月	木星と土星
8月	火星とアンタレス
9月	夏の大三角と北十字
11月	しし座流星群
1月	すばる、部分日食
3月	月とオリオン座

e. 星空コンサート

プラネタリウム施設の幅広い活用方法の実践、新しい来館者層の開拓を目的にプラネタリウムと文化芸術を融合させた企画「星空コンサート」を実施した。

<演奏者及び観覧者数一覧>

4月27日(金)	樋口雅礼瑠(箏) 長谷川雅楽袖(箏)	163人
5月27日(日)	習志野天文部(オーケストラ)	182人
6月22日(金)	久松綾子(ピアノ) 矢口真由美(ソプラノ)	185人
7月28日(土)	今高友香(ヴァイオリン) 高林由季(ピアノ)	145人
8月24日(金)	渡辺大輔(ケーナ) 菅野朝子(ヴァイオリン・フィドル) 熊本比呂志(パーカッション) 根木マリサ(ピアノ)	194人
9月28日(金)	古谷真未(チェロ) 相馬邦子(ピアノ) 枝元一代(ヴォーカル)	179人
10月28日(日)	見澤淑恵(朗読) 加藤真矢子(ピアノ)	173人
11月30日(金)	古寺由希子(ファゴット) 岡本美喜子(オーボエ) 田中典子(ピアノ)	200人
12月15日(土)	服部奈々(ヴァイオリン) 森口真智子(ヴァイオリン) 脇田優子(ヴィオラ) 松本ゆり子(チェロ)	208人
1月26日(土)	小高根ふみ(ヴァイオリン) 朝来桂一(ヴァイオリン) 西村友里亜(ヴィオラ) 大森健一(チェロ) 古川貴子(ピアノ)	164人
2月17日(日)	結束寛子(クラリネット) 小又史江(コントラバス) 浅井寛子(ピアノ)	178人

(星空コンサート 演奏者及び観覧者数一覧 続き)

3月30日(土)	岡田濤(フルート) 奥田千春(ピアノ)	183人
----------	------------------------	------

f. プラネタリウムイベント

プラネタリウム設備を活用した新しい取り組みとして、研究教育機関等と連携した特別上映会及び講演会を実施した。

○プラネタリウム特別上映会&講演会(サイエンスレクチャー)

「サイエンスレクチャー～加速器で探る宇宙～」 11月24日(土)

「Phantom of the Universe -The Hunt for Dark Matter-」同時上映

共催：高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所

②3Dシアター【公益1】

3Dシアターは、センターの特長ある体験設備として、関係機関等との連携を図り、教育を意識した番組制作や学校活動における利用を意識して運用し、3.7万人を超える来館者が観覧した。

また、前年度に制作した続編のコンテンツとして「つくまるの大冒険！～つくば周辺・大地の歴史～」、「つくまるの大冒険！～昆虫の一生～」を制作して、上映プログラムの充実を図った。

(4) ミュージアムショップ【収益1】

科学館の中のミュージアムショップとしてのあり方を再認・意識し、来館者が科学館に求める商品の提供に心がけ、センターの活動(企画展やプラネタリウム番組等)に関連した時節を得た売り場づくりを念頭に置き、ミュージアムショップの運営を行った。

また、オリジナルグッズとして、センターのキャラクターである「テクノ筑丸」や現在も根強い人気のある科学万博のマスコットキャラクター「コスモ星丸」等を使用した文房具やTシャツ等を製作し、販売の促進を図った。

(5) その他【公益1・収益1】

①学会・協議会等活動への参加・協力【公益1】

「全国科学館連携協議会」、「日本プラネタリウム協議会」等の活動に職員を参加させて、知見等の資質向上を図った。

○全国科学館連携協議会2018年度国内研修(10月、大阪)に職員を参加させ、「防災科学技術研究所と連携して開発した火山をテーマにしたサイエンスショー」をテーマに事例発表を行った。



○全国科学博物館協議会の 2018 年度全科協海外科学系博物館視察研修（2019 年 1 月、カナダ、アメリカ）に職員を参加させ、学芸員の資質の向上を図った。加えて、2018 年度第 2 回全国科学博物館協議会総会に参加し、海外科学系博物館視察研修の報告を行った。

○静岡科学館が主催する「科学館・博物館若手職員向けグローバル研修交流会」に職員を参加させ、サイエンスコミュニケーターの資質の向上を図った。

○日立市民科学文化財団が主催する「第 26 回日立サイエンスショーフェスティバル」に職員を参加させ、サイエンスコミュニケーターの資質の向上を図った。

## ②その他【収益 1】

センターの利用促進及びサービスの充実と向上を目的に、外部事業者への「ほしまるカフェ」の運営の委託を継続した。

また、駐車場は、来館者や地域に向けたサービスの一環として、平日は無料開放し、気軽に足を運べるよう配慮するほか、土・日・祝日及び春・夏休み等の繁忙期は廉価での運営を行った。

その他、財団の事業目的に沿った施設等の貸与・貸付を行った。

## 2. 科学技術の普及啓発及び人材育成の促進、科学技術に関する産業界、大学及び公的研究機関の連携促進並びに科学技術の国際交流の促進に関する事業

### 【公益 2・収益 2】

センターにおける科学技術の普及啓発活動を推進することを念頭に、県内教育委員会を訪問し、事業紹介及び連携事業の提案を行った。また、地域の教育機関と連携して「つくば市教育研究会理科教育研究部・理科主任研修会」の開催に協力し、センター活動を紹介して今後の利活用を促した。

その他、地元つくば市やつくばインターナショナルスクール（TIS）と地域連携及び教育活動の向上を図ることを目的とした協力を継続している。

### （1）科学技術の普及啓発及び人材育成の促進【公益 2】

①科学技術週間における筑波研究学園都市研究施設一般公開に対する支援をはじめとする施設料金割引や展示・催事等の実施【公益 2】

科学技術週間において、「一日館長」イベントの実施、期間中のセンター入館料割引を行うとともに、研究施設一般公開に対する支援を行った。

## ②科学技術を通じた地域コミュニケーションの創造のための事業【公益2】

本年度の助成支援事業の一つである第17回世界湖沼会議が10月に開催された。

## ③全国ジュニア発明展【公益2】

「第20回全国ジュニア発明展」のテーマを「家のお仕事を楽しく、楽しもう！」とし開催した。募集にあたっては要項の配布先の拡大を行い、その結果10,206作品の応募があり、前年度と比較して513作品増加した。

11月の表彰式では、最優秀作品(2作品)に文部科学大臣賞を授与した。なお、審査結果の入賞数は41作品(小学生部門21作品、中学生部門20作品)であった。また、事業活動と成果を全国的に周知する取り組みとして、他の科学館・博物館等(3館)で入選作品の展示会を実施した。

今後は、全国的な展開の方向性を改め、地元茨城県の小中学生の科学研究・発明工夫活動を県と一体となって強力に支援していくことにより、個々の作品の質の向上を図り、併せて、地域への協力を強化することとしている。このため、全国ジュニア発明展を当面、休止にすることとしている。

## ④科学技術の普及啓発及び人材育成を促進する事業の共催支援・協力

### 【公益2】

科学技術に関する映像作品を通して、科学技術への理解増進や関心の一層の拡大を目指し、日本科学技術振興財団等との共催で「第60回科学技術映像祭」を実施した。また、科学技術映像祭の成果発表や活動の周知として、入賞作品上映会をセンターで行った。

その他、下記事業について共催、後援を行った。

- 物理オリンピック 2018
- 第11回日本地学オリンピック大会
- 第19回全国中学生創造ものづくり教育フェア
- 第8回科学の甲子園茨城県大会
- 第62回茨城県科学研究作品展県南地区展
- 2018年度「宇宙の日」記念 全国小・中学生作文絵画コンテスト

## ⑤おとなのためのサイエンス講座【公益2】

あらゆる人が科学技術をテーマに集い、対話し、理解する機会を提供する取り組みの一つとして、大人が気軽に科学技術について学び、関心を深める場となる「おとなのためのサイエンス講座」を継続して実施した。今年度から宇宙

をテーマにした講座を加えるとともに、新たな試みとして、県南地域ジオパークをめぐるバスツアー教室を実施した。講座の運営については、新たに宇宙航空研究開発機構（JAXA）を加えた研究機関の協力も得て円滑に進めることができた。（13 講座／受講者 119 人）

#### ⑥アウトリーチ活動【公益 2】

ボランティアインストラクターの参画を得て、幼稚園、学校、公民館等に対して移動プラネタリウムをはじめとする科学出前教室として、サイエンスショー、科学工作教室、実験機器貸出等を実施した。実績としては、127 件、11,570 人の受講者が参加した。（前年度：128 件、12,533 人）

本活動を県内教育委員会へ継続して紹介するほか、新しい取り組みとして筑波大学附属病院小児病棟に入院している子どもたちを対象に実施したことに加え、つくば市との協力で、中心市街地において親子科学実験教室を 10 回行った。また、外部資金の「子どもゆめ基金」からの助成を受け、児童養護施設の児童を含む小中学生（36 人）を対象に交通手段を準備して熱気球製作教室を開催した。

#### ⑦科学館連携事業【公益 2】

科学館・博物館の運営や活動の支援として実施している巡回展や展示ソフト等の貸し出しをぐんまこどもの国児童館（「エネルギー展示物」）に行った。

今後の事業継続と実施にあたっては、展示物の老朽化や経費負担が必要となっていることから、新たな科学館協力事業について検討を進めている。

#### ⑧学芸員の教育支援・職場体験、企業実習の受け入れ【公益 2】

学芸員養成課程の博物館実習生（4 名）を受け入れた。また、職場体験等の実施については、他県からの受入申請も含め、中学校（5 校 12 名）からの受け入れのほか、大学からの実習生（8 名）を受け入れた。実習生による課題発表も充実し、終了後、各派遣元からも本実習へ良い評価を頂いた。

#### ⑨つくばインターナショナルスクール（TIS）との協力

地域連携及び教育活動の向上を図り、国際バカロレア課程に必要な社会活動に参画することを目的に相互に有効な活動を展開した。今年度の活動としては、生徒 4 名がプラネタリウム番組の英語版音声の吹替えや解説パネルの英訳作成、プラネタリウムガイドの英語版を作成したほか、展示場における英語版クイズラリーを新たに作成し展開した。

#### ⑩エキスポ科学クラブ開講準備について

財団中長期計画に基づき、地域における科学技術コミュニティづくりの一環として、小学生3・4年生を対象とする「エキスポ科学クラブ」の開講を検討し、次年度の開講に向けて準備を行い、2019年3月より新規会員の募集を開始した。

### (2) 科学技術に関する産業界、大学及び公的研究機関の連携促進並びに科学技術の国際交流の促進【公益2・収益2】

#### ①助成支援【公益2】

「2019年度みらいの科学技術振興事業」(つくばリンク事業)への募集活動を行い、2件の応募があったが採択には至らなかった。

また、つくばサイエンス・アカデミーへの協力として、以下の事業へ共催、後援を行った。

○SATテクノロジー・ショーケース2019

○SATフォーラム2018

○第13回つくばスタイル交流会

#### ②つくばサイエンスニュースによる情報発信【公益2】

筑波研究学園都市にある産・学・官の研究機関が発表した科学技術関連ニュースを分かりやすく伝えるWeb版「サイエンスニュース」による情報発信を行った。特に閲覧数増加をねらい、レイアウト変更、内部リンク強化、旧サイエンスニュースを含む一括記事検索、各種端末に対応する表示機能(レスポンシブ化)の付加、記事検索強化プラグインの導入を実施し、ニュースページ全体の利便性を高めるとともに、Twitter公式ページの運用と発信を2018年9月に開始した。

2018年度のトピックス掲載記事数は324件、月2回更新するコラムは72本掲載した。上記機能強化も伴い、結果としてページ閲覧数は前年度の88,065件を上回り135,079件と大幅な増加となった。

#### ③研究者語学研修を通じた研究者交流【収益2】

筑波研究学園都市内の研究者、教育者、支援スタッフ等の英語力向上と研修の場を活用した人的交流の推進を目的として、文部科学省研究交流センターと共催して英語研修を実施した。受講者数は29機関から379名(前年度:27機関、349名)が参加し、受講料の均一化、講師採用、クラス編成(短期クラス実施)、テキスト等の見直し、また追加募集で人数確保に努めた。今後も継続してクラス編成、講師の確保など検討する必要がある。

### 3. 科学技術関係団体等に関する事業【他1】

「科学技術団体連合」及び「牧友会」の事務局業務については、2018年4月から引き続き休止している。

### 4. 情報発信・広報活動

#### (1) 情報発信（情報公開）

「平成29年度事業報告書及び計算書類等」「平成30年度事業計画書及び収支予算書等」を財団ウェブサイトで公開した。

#### (2) 広報活動

センターの運営を中心に財団の事業活動について広く広報するため、筑波研究学園都市記者会を通じて、報道関係機関へ資料配布等により情報提供を行った（17件）。プラネタリウムや企画展等の活動については試写会・内覧会を開催したほか、新聞やTV等のメディア取材をはじめ、中国、インドネシア、タイ等の海外メディアの取材にも適宜対応した（取材件数195件）。また、センターのPR活動の一環として、アイドルグループのプロモーションビデオへの撮影協力を行い広報活動へ活用した。

その他、センター活動の各種メディアへの広告掲載、自治体等と連携した観光キャンペーン等への参画のほか、ホームページによる各種事業及びセンター活動に関する情報の発信に加え、SNSの導入検討を行い、8月より公式Instagram及び公式Facebookを通じた情報発信を開始した。

財団ホームページのページ閲覧数は、前年度比2,748件減の40,920件（前年度：43,668件）、センターホームページのページ閲覧数は、前年度比36,569件減の1,958,135件（前年度：1,984,704件）ではあったものの、平均ページ滞在時間は約9%増加した。センターホームページのアクセスと利便性のさらなる向上のため、ホームページリニューアルに向けて準備を進めた。

## II. 財団運営に関する総合的な活動に関すること

### 1. 代表理事・業務執行理事及び理事会・評議員会

代表理事及び業務執行理事の執行体制で財団経営を担い、業務を適切に執行した。理事会・評議員会については、定款等で定められている通り以下の通り運営した。

(1) 理事会

(開催日)		議題
2018年 6月7日(木)	第26回理事会 (通常)	<p>&lt;決議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度事業報告書(案)について</li> <li>平成29年度決算報告書(案)について</li> <li>第16回定時評議員会の招集について(案)</li> </ul> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理事長職務執行状況報告</li> <li>専務理事職務執行状況報告</li> <li>基金運用状況について</li> </ul>
2018年 6月27日(水)	第27回理事会 (書面決議)	<p>&lt;決議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代表理事・理事長の選定について</li> <li>業務執行理事・専務理事の選定について</li> <li>つくばエキスポセンター館長の選任について</li> <li>事務局長の選任について</li> </ul>
2018年 9月26日(水)	第28回理事会 (臨時)	<p>&lt;報告事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>財団事業の概観について</li> <li>中長期計画とその進捗状況について</li> <li>基金運用状況と見通しについて</li> <li>理事長職務執行状況報告</li> <li>専務理事職務執行状況報告</li> </ul>
2019年 3月7日(木)	第29回理事会 (通常)	<p>&lt;決議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度事業計画書(案)について</li> <li>2019年度収支予算書(案)、資金調達及び設備投資の見込み(案)について</li> <li>2019年度基本財産基金の運用方針について(運用計画)(案)</li> <li>就業規程の改正について 正規職員就業規程(案) 契約職員就業規程(案)</li> <li>第17回臨時評議員会の招集について(案)</li> </ul> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理事長職務執行状況報告</li> <li>専務理事職務執行状況報告</li> </ul>

## (2) 評議員会

(開催日)		議題
2018年 6月27日(水)	第16回 評議員会(定時)	<決議事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度決算報告書(案)について</li> <li>・理事及び監事の選任(案)について</li> <li>・評議員の選任(案)について</li> </ul> <報告事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第26回通常理事会決議事項について</li> <li>・平成29年度年度事業報告書について</li> <li>・基金運用状況について</li> </ul> <その他> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団の活動状況について</li> </ul>
2019年 3月27日(水)	第17回 評議員会(臨時)	<報告事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第29回通常理事会決議事項について</li> <li>・2019年度事業計画書について</li> <li>・2019年度収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて</li> <li>・2019年度基本財産基金の運用方針について(運用計画)</li> <li>・就業規程の改正について               <ul style="list-style-type: none"> <li>正規職員就業規程</li> <li>契約職員就業規程</li> </ul> </li> </ul> <その他> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団の活動状況について</li> </ul>

## 2. 監事監査

理事の業務執行及び事業報告、計算書類等の監事監査を行った。

また、これに資するため外部監査として公認会計士による監査を実施した。

○2018年5月17日(木)～19日(土) 公認会計士による監査

○2018年6月4日(月) 監事監査

## 3. 基金の運用

### (1) 運用収入

為替(豪ドル)が一年を通じて円高傾向で推移したことにより、予算を約4.5百万円下回る収入額となった。

## (2) 再投資

基金運用の方針に基づき、額面 6.488 億円(仕組外債 4.488 億円、国内債他 2 億円)分の債券への再投資を行った。

	銘 柄	額面	利 率
償還等	第 10 回東京電力パワーグリッド債	1 億円	0.450%
	ターゲット解約条件付定期預金	2 億円	5.000%(変動)
	三菱 UFJ 証券ホルディングス PRDC 債 (米)	3 億円	2.373%(変動)
	第 1 回ハフアケミカル債	1 億円	0.720%
購入	J. P. モルガン・ストラクチャード・プロダクツ PRDC 債 (米)	4.488 億円	当初 1 年 3.110% 以降変動
	第 25 回 GE キャピタル債	2 億円	1.244%

## (3) その他

財団を取り巻く流動的な金融情勢等を踏まえ、定期的に基金運用アドバイザーと再投資等に関する意見交換を行った。

## 4. 施設・設備【公益 1】

センター来館者の安全性や快適性を確保するため、計画的に施設・設備等の整備を実施した(自動ドア修理工事、屋外展示場高木剪定作業、1階ロケット側男女・障害者トイレ及び売店脇障害者トイレ改修工事、放送設備・所内時計更新工事、防災監視設備更新工事、誘導灯・非常照明更新工事)。

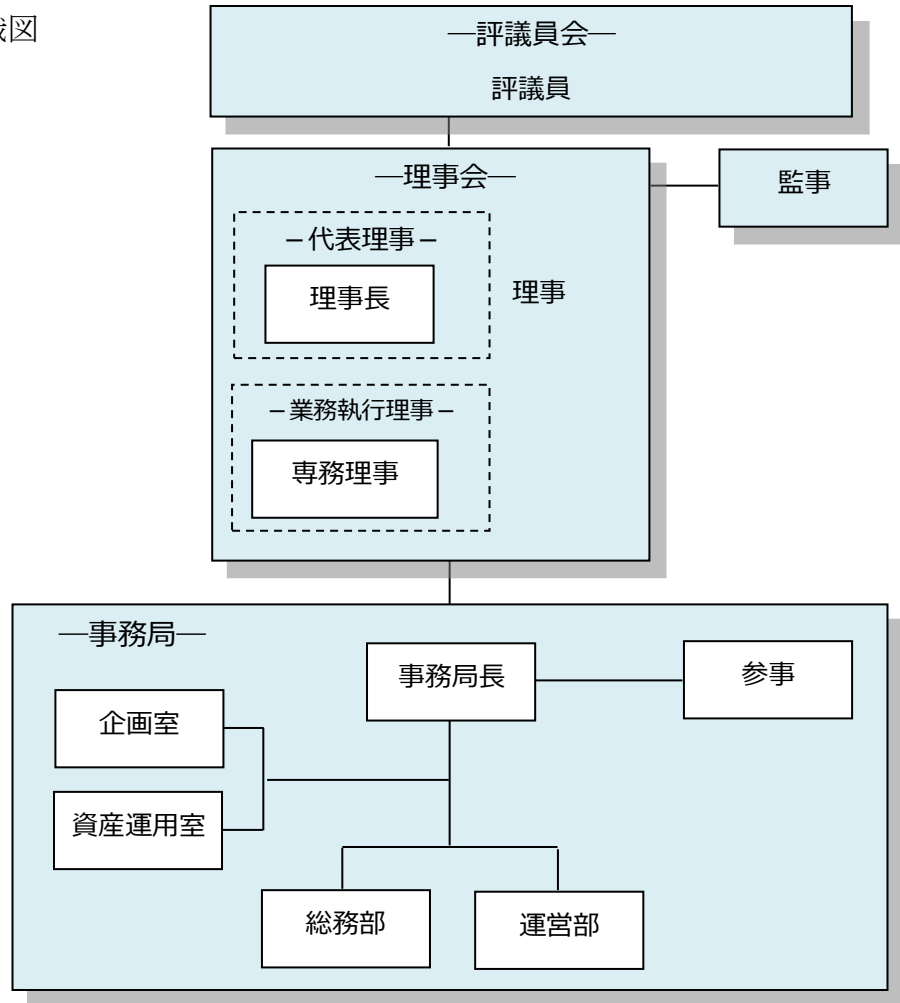
## 5. 業務執行体制

公益財団法人の代表理事として理事長、業務執行理事として専務理事を、事務局に総務部、運営部、企画室、資産運用室を置き業務を行った。

また、財団業務を担う人材の確保、多様化する業務への柔軟な対応、職員の能力、専門性をより発揮しやすい環境の醸成に取り組むため、職員就業規程・職員給与規程改正の準備を行うなど、効率的かつ効果的な事業運営を行った。



組織図



2019年3月31日時点

## 6. その他

法定点検が義務付けられている消防用設備等点検及び防火対象物点検（9月、3月）を実施し、適切に届出を行った。加えて、消防計画に基づき、消防訓練（7月、3月）を2回行った。

他に、建築基準法に基づく特定建築物の定期調査を行った。

### 事業報告書の附属明細書について

平成 30 年度事業報告については事業報告書に記載のとおりであり、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はないので作成しない。